

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 8 月 2 日(2024.8.2)

【公開番号】特開 2023-159812(P2023-159812A)  
【公開日】令和 5 年 11 月 1 日(2023.11.1)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-206  
【出願番号】特願 2022-69748(P2022-69748)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 7 月 25 日(2024.7.25)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値との差分が特定値に達したか否かを判定する判定手段と、  
遊技機の状態を制御する遊技制御手段と、  
前記差分が前記特定値に達する前に、前記差分に関する所定の事前報知を実行可能な事前報知手段と、  
のめり込みに関する注意喚起報知を実行可能な注意喚起報知手段と、  
を備え、  
前記差分が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能であり、  
前記事前報知と前記注意喚起報知は、所定の表示手段に表示される画像を用いた報知であり、  
前記事前報知と前記注意喚起報知とが並行して実行される場合に、前記事前報知に対応する画像によって前記注意喚起報知に対応する画像が視認不能にならないように構成され  
る  
さらに、前記注意喚起報知は、遊技が行われていない所定の遊技待機状態で実行可能であり、  
前記遊技待機状態が開始される前に行われていた前記事前報知は、前記遊技待機状態に移行した後にも継続して実行可能であり、  
さらに、前記遊技不能状態では、前記事前報知に対応する画像と前記注意喚起報知に対応する画像の何れとも異なる遊技不能画像を表示可能である

30

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0007  
【補正方法】変更

50

## 【補正の内容】

## 【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、  
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値との差分が特定値に達したか否かを判定する判定手段と、  
遊技機の状態を制御する遊技制御手段と、  
前記差分が前記特定値に達する前に、前記差分に関する所定の事前報知を実行可能な事前報知手段と、  
のめり込みに関する注意喚起報知を実行可能な注意喚起報知手段と、  
を備え、  
前記差分が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能であり、  
前記事前報知と前記注意喚起報知は、所定の表示手段に表示される画像を用いた報知であり、  
前記事前報知と前記注意喚起報知とが並行して実行される場合に、前記事前報知に対応する画像によって前記注意喚起報知に対応する画像が視認不能にならないように構成され、  
さらに、前記注意喚起報知は、遊技が行われていない所定の遊技待機状態で実行可能であり、  
前記遊技待機状態が開始される前に行われていた前記事前報知は、前記遊技待機状態に移行した後にも継続して実行可能であり、  
さらに、前記遊技不能状態では、前記事前報知に対応する画像と前記注意喚起報知に対応する画像の何れとも異なる遊技不能画像を表示可能であることを特徴とする。

10

20

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

30

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0009】

このように、本発明によれば、遊技機の管理の適正化を図ることができる。

40

50